

## &lt;液状化に関する事業者意見&gt;

## ① 夢洲特有の軟弱地盤を踏まえると、建物構造例（杭補強等）では対応困難

※夢洲での大規模開発は、支持地盤（洪積層）が長期に沈下する極めて稀な地盤条件下での施設建設となるため、地盤沈下対策だけで複雑かつ高難易度の技術検討が生じている。

※このような地盤条件下で、さらに液状化が生じた場合の建物影響は技術的にも未知であり、地盤沈下・液状化の複合影響を建物構造例で抑止・抑制する方法（杭補強等）では、確実な安全性を担保できない。

## ② I R事業の投資規模、大規模な施設群・集客性、超長期の確実な安心・安全確保等を踏まえると、液状化危険度の低い土地での開発が必要

※東京ディズニーランド/ディズニーシーでの液状化対策（大規模集客施設・テーマパークとしての類似性）

- ・埋立地の液状化対策として、建設時に敷地全体を地盤改良（サンドコンパクション工法）
- ・東日本大震災において、千葉県周辺の埋立地は大きな液状化被害が生じる中、ディズニーランドは大きな被害が生じず、液状化対策事例として社会的にも注目

※本来は、埋立造成時に土地利用の安全性を考慮した地盤対策が必要

※東日本大震災時の液状化リスクの顕在化によって、以降、地盤に対する液状化対策の重要性が高まっている。

⇒万全な液状化対策が必要であり、大阪市で敷地全体の地盤改良を行った上で、土地を引渡す必要